

平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）



平成19年2月1日

上場会社名 積水化成工業株式会社 (コード番号：4228 東証・大証第1部)
(URL <http://www.sekisuiplastics.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 小野 恵造
問合せ先責任者 役職名 経理部長 氏名 沼倉 克則 TEL (06) 6365-3022

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
税金費用の計上基準…法定実効税率をベースとして計算しております。
その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
連結 (新規) 2社 (除外) 1社 持分法 (新規) 1社 (除外) 1社

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況 (平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注) 百万円未満は切捨てにより表示

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	71,775	6.3	2,574	5.5	2,444	△4.5	1,699	7.5
18年3月期第3四半期	67,496	3.9	2,440	△2.6	2,560	2.0	1,580	6.1
(参考) 18年3月期	89,254		2,992		3,049		1,800	

	1株当たり四半期 (当期) 純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期) 純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	17. 19	—
18年3月期第3四半期	15. 84	—
(参考) 18年3月期	17. 71	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期 (平成18年4月1日から平成18年12月31日) の日本経済は、好調な設備投資と企業業績の改善が進み、景気回復局面が続きました。一方、発泡プラスチック業界におきましては、高騰を続けた原油価格は中間期末以降落ち着いているものの、スチレンモノマーやポリスチレンなど主要原料価格は上昇傾向が続き、予断を許さない収益環境が続きました。

このような経営環境のなか、当社グループは3ヵ年中期経営計画「DASH50-Stage II」をスタートしました。当第3四半期は、自動車・デジタル家電向けを中心とした

高機能製品については、国内外での拡販と海外への事業展開を進めました。一方、既存製品は、原料・燃料価格値上げに対する的確な対応を進めるとともに、国内子会社の収益力強化に取り組みました。その結果、当第3四半期の連結売上高は717億7千5百万円（前年同四半期比6.3%増）となり、連結営業利益は25億7千4百万円（同5.5%増）、連結経常利益は24億4千4百万円（同4.5%減）、連結四半期純利益は16億9千9百万円（同7.5%増）となりました。

樹脂事業につきましては、中間期に原料値上げに対応した価格改定の遅れから採算悪化していた主力の「エスレンビーズ」（発泡ポリスチレン樹脂製品）については価格改定を進めました。一方、「ピオセラン」（ポリエチレン・ポリスチレン複合樹脂発泡体）等を素材とした自動車部材やデジタル家電向け梱包材が引き続き好調に推移しました。また、「テクポリマー」（有機微粒子ポリマー）も液晶関連等に使用される光拡散用途を中心に売上を伸ばしました。その結果、樹脂事業の連結売上高は、283億5千7百万円（前年同四半期比15.2%増）、連結営業利益13億3千4百万円（同7.5%増）となりました。

シート事業につきましては、主力の「エスレンシート」（発泡ポリスチレンシート押出製品）が、食品容器の軽量化・薄肉化に対応した製品が伸長して、数量・売上高ともに前年同期を上回りました。一方、ポリスチレン等の原料値上げに対応した製品価格改定に時間を要したため、シート事業の連結売上高は、324億5千1百万円（前年同四半期比1.9%増）、連結営業利益13億1千7百万円（同4.3%減）となりました。

建材事業につきましては、「EPS土木工法」（軽量盛土工法）の売上は前年同四半期を下回りましたが、「エスレンフォーム」（押出発泡ポリスチレン断熱材）や「ESダンマット」（次世代省エネルギー基準対応戸建用高機能断熱材）は増加しました。その結果、建材事業の連結売上高は、73億1千1百万円（前年同四半期比1.8%増）、連結営業損失1億7千4百万円（前年同四半期連結営業損失2億2千7百万円）となりました。

その他事業につきましては、連結売上高は、36億5千4百万円（前年同四半期比4.7%減）、連結営業利益1億1百万円（同123.2%増）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

（注）百万円未満は切捨てにより表示

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	94,572	48,194	50.1	480.69
18年3月期第3四半期	94,463	46,728	49.4	469.74
(参考)18年3月期	91,900	46,437	50.5	468.83

（注）18年3月期第3四半期及び18年3月期の数値については、従来の「株主資本」を「純資産」の欄に、「株主資本比率」を「自己資本比率」の欄に、「1株当たり株主資本」を「1株当たり純資産」の欄に記載しております。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	4,620	△ 3,426	△ 2,228	4,336
18年3月期第3四半期	2,415	△ 1,799	365	5,818
(参考)18年3月期	4,308	△ 3,625	△ 334	5,208

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における総資産は、945億7千2百万円（前連結会計年度末比26億7千2百万円増）となりました。資産の部では、売上増に伴う売上債権増加などにより流動資産が19億8千6百万円増加しました。また、積極的な設備投資に伴う有形固定資産増加などにより固定資産が6億8千5百万円増加しました。純資産は、481億9千4百万円となり、自己資本比率は50.1%となりました。

当第3四半期におけるキャッシュ・フローの状況は、営業活動により得られた資金が、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の増加などにより、前年同四半期に比べ22億5百万円増加し、46億2千万円となりました。また、投資活動に使用された資金は、有形固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、前年同四半期に比べ16億2千7百万円増加し、34億2千6百万円となりました。財務活動に使用された資金は、長短借入金の返済による支出などにより、22億2千8百万円（前年同四半期は財務活動により得られた資金3億6千5百万円）となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は43億3千6百万円（前連結会計年度末比8億7千2百万円減）となりました。

3. 平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	94,900	3,450	2,060

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期）20円81銭

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点では、通期の連結業績は、平成18年10月31日公表の業績予想と変更はありません。

※業績予想につきましては、発表時現在のデータにより、経営者が現状で判断する一定の前提及び仮定に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上

○ 添付資料

- 要約四半期連結貸借対照表
- 要約四半期連結損益計算書
- 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書
- セグメント情報
- 参考資料

1. 要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当四半期 (平成19年3月期第3四半期末)		前連結会計年度(参考) (平成18年3月期末)		比較増減 金 額	前年同四半期 (平成18年3月期第3四半期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	金 額
(資 産 の 部)		%		%			%
I. 流 動 資 産							
1. 現 金 及 び 預 金	4,620		5,570		△ 950	6,235	
2. 受 取 手 形 及 び 売 掛 金	26,732		24,915		1,816	26,682	
3. た な 卸 資 産	7,807		7,141		665	6,946	
4. そ の 他	2,472		2,017		454	2,815	
流 動 資 産 合 計	41,632	44.0	39,645	43.1	1,986	42,679	45.2
II. 固 定 資 産							
1. 有 形 固 定 資 産	39,091		38,414		676	38,384	
2. 無 形 固 定 資 産	681		726		△ 44	690	
3. 投 資 そ の 他 の 資 産	13,167		13,113		53	12,708	
固 定 資 産 合 計	52,940	56.0	52,254	56.9	685	51,783	54.8
資 産 合 計	94,572	100.0	91,900	100.0	2,672	94,463	100.0
(負 債 の 部)							
I. 流 動 負 債							
1. 支 払 手 形 及 び 買 掛 金	17,401		14,490		2,911	16,382	
2. 短 期 借 入 金	5,359		6,641		△ 1,281	10,866	
3. そ の 他	10,083		9,527		555	10,538	
流 動 負 債 合 計	32,844	34.7	30,659	33.4	2,184	37,788	40.0
II. 固 定 負 債							
1. 長 期 借 入 金	5,800		5,800		—	2,000	
2. 退 職 給 付 引 当 金	3,801		4,238		△ 437	4,346	
3. そ の 他	3,931		3,852		79	2,686	
固 定 負 債 合 計	13,532	14.3	13,891	15.1	△ 358	9,033	9.5
負 債 合 計	46,377	49.0	44,550	48.5	1,826	46,821	49.5
(少 数 株 主 持 分)							
少 数 株 主 持 分	—	—	911	1.0	—	913	1.1
(資 本 の 部)							
I. 資 本 金	—	—	16,533	18.0	—	16,533	17.5
II. 資 本 剰 余 金	—	—	19,223	20.9	—	19,223	20.3
III. 利 益 剰 余 金	—	—	7,186	7.8	—	6,967	7.4
IV. 土 地 再 評 価 差 額 金	—	—	914	1.0	—	1,808	1.9
V. そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	—	—	3,765	4.1	—	3,219	3.4
VI. 為 替 換 算 調 整 勘 定	—	—	△ 164	△ 0.2	—	△ 249	△ 0.3
VII. 自 己 株 式	—	—	△ 1,021	△ 1.1	—	△ 775	△ 0.8
資 本 合 計	—	—	46,437	50.5	—	46,728	49.4
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	—	—	91,900	100.0	—	94,463	100.0
(純 資 産 の 部)							
I. 株 主 資 本							
1. 資 本 金	16,533	17.5	—	—	—	—	—
2. 資 本 剰 余 金	18,541	19.6	—	—	—	—	—
3. 利 益 剰 余 金	8,074	8.5	—	—	—	—	—
4. 自 己 株 式	△ 538	△ 0.5	—	—	—	—	—
株 主 資 本 合 計	42,610	45.1	—	—	—	—	—
II. 評 価 ・ 換 算 差 額 等							
1. そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	3,899	4.1	—	—	—	—	—
2. 土 地 再 評 価 差 額 金	914	1.0	—	—	—	—	—
3. 為 替 換 算 調 整 等 勘 定	△ 91	△ 0.1	—	—	—	—	—
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	4,722	5.0	—	—	—	—	—
III. 少 数 株 主 持 分	862	0.9	—	—	—	—	—
純 資 産 合 計	48,194	51.0	—	—	—	—	—
負 債、純 資 産 合 計	94,572	100.0	—	—	—	—	—

2. 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当四半期 〔自 平成18年4月 1日〕 〔至 平成18年12月31日〕		前年同四半期 〔自 平成17年4月 1日〕 〔至 平成17年12月31日〕		比較増減	前連結会計年度（参考） 〔自 平成17年4月 1日〕 〔至 平成18年3月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
I. 売 上 高	71,775	100.0	67,496	100.0	4,279	89,254	100.0
II. 売 上 原 価	55,769	77.7	51,856	76.8	3,913	68,734	77.0
売 上 総 利 益	16,005	22.3	15,640	23.2	365	20,519	23.0
III. 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	13,431	18.7	13,199	19.6	231	17,526	19.6
営 業 利 益	2,574	3.6	2,440	3.6	134	2,992	3.4
IV. 営 業 外 収 益	299	0.4	463	0.7	△ 163	585	0.6
1. 受 取 利 息 及 び 配 当 金	141		109		31	117	
2. 負 の の れ ん 償 却 額	-		95		△ 95	127	
3. 持 分 法 に よ る 投 資 利 益	4		-		4	-	
4. そ の 他	153		258		△ 104	341	
V. 営 業 外 費 用	429	0.6	343	0.5	86	529	0.6
1. 支 払 利 息	89		62		27	88	
2. 持 分 法 に よ る 投 資 損 失	-		8		△ 8	18	
3. そ の 他	339		271		67	423	
経 常 利 益	2,444	3.4	2,560	3.8	△ 115	3,049	3.4
VI. 特 別 利 益	667	1.0	675	1.0	△ 8	1,346	1.5
VII. 特 別 損 失	64	0.1	595	0.9	△ 530	1,521	1.7
税金等調整前四半期（当期）純利益	3,047	4.3	2,641	3.9	406	2,874	3.2
税 金 費 用	1,262	1.8	1,019	1.5	242	1,032	1.2
少 数 株 主 利 益	85	0.1	41	0.1	44	40	0.0
四 半 期 （ 当 期 ） 純 利 益	1,699	2.4	1,580	2.3	119	1,800	2.0

3. 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当四半期	前年同四半期	前連結会計年度 (参考)
	(自 平成18年4月 1日 至 平成18年12月31日)	(自 平成17年4月 1日 至 平成17年12月31日)	(自 平成17年4月 1日 至 平成18年3月31日)
	金 額	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	3,047	2,641	2,874
減価償却費	2,676	2,325	3,250
受取利息及び受取配当金	△ 141	△ 109	△ 117
支払利息	89	62	88
売上債権の増加額	△ 2,008	△ 3,958	△ 2,200
仕入債務の増加額	3,447	2,539	828
その他	△ 2,171	△ 777	△ 68
小 計	4,940	2,724	4,655
法人税等の支払額	△ 400	△ 1,351	△ 1,387
その他	80	1,042	1,039
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,620	2,415	4,308
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 3,817	△ 2,823	△ 4,710
投資有価証券の取得による支出	△ 484	△ 245	△ 246
投資有価証券の売却による収入	1,004	566	573
連結子会社株式の追加取得による支出	△ 128	—	—
その他	△ 1	702	756
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,426	△ 1,799	△ 3,625
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	△ 658	405	368
長期借入れによる収入	—	1,500	5,300
長期借入金の返済による支出	△ 631	△ 646	△ 4,845
配当金の支払額	△ 723	△ 679	△ 697
自己株式の取得による支出	△ 198	△ 197	△ 442
その他	△ 17	△ 15	△ 17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,228	365	△ 334
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	19	23	47
V. 現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	△ 1,014	1,004	395
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	5,208	4,813	4,813
VII. 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	142	—	—
VIII. 現金及び現金同等物期末残高	4,336	5,818	5,208

4. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期（自：平成18年4月1日 至：平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	樹脂 事業	シート 事業	建 材 事業	その他 事業	計	消去又 は全社	連 結
I. 売上高及び営業損益							
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	28,357	32,451	7,311	3,654	71,775	—	71,775
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	872	103	729	124	1,829	(1,829)	—
計	29,230	32,555	8,041	3,778	73,605	(1,829)	71,775
営 業 費 用	27,895	31,237	8,216	3,677	71,026	(1,825)	69,200
営業利益又は営業損失（△）	1,334	1,317	△174	101	2,578	(4)	2,574

前年同四半期（自：平成17年4月1日 至：平成17年12月31日）

（単位：百万円）

	樹脂 事業	シート 事業	建 材 事業	その他 事業	計	消去又 は全社	連 結
I. 売上高及び営業損益							
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	24,619	31,859	7,181	3,834	67,496	—	67,496
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	914	99	790	59	1,863	(1,863)	—
計	25,534	31,959	7,972	3,894	69,359	(1,863)	67,496
営 業 費 用	24,292	30,582	8,199	3,848	66,923	(1,867)	65,056
営業利益又は営業損失（△）	1,241	1,377	△227	45	2,436	3	2,440

前連結会計年度（自：平成17年4月1日 至：平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	樹脂 事業	シート 事業	建 材 事業	その他 事業	計	消去又 は全社	連 結
I. 売上高及び営業損益							
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	32,551	42,067	9,608	5,027	89,254	—	89,254
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,203	136	1,042	78	2,459	(2,459)	—
計	33,754	42,203	10,650	5,105	91,714	(2,459)	89,254
営 業 費 用	32,339	40,467	10,894	5,022	88,724	(2,462)	86,261
営業利益又は営業損失（△）	1,415	1,735	△244	83	2,989	2	2,992

(注) 1. 事業区分の方法

製造方法に市場性を加味した事業に区分している。

2. 各区分に属する主要な製品の名称

- ・樹脂事業— エスレンビーズ、ピオセラン、テクポリマー、テクノゲル、自動車関連資材、産業包装材、その他樹脂関連商品
- ・シート事業— エスレンシート、ラミネート、エスレンウッド、ライトロン、その他シート関連商品
- ・建材事業— エスレンフォーム、エスレンネダマット、ティエスサンド、エスレンボイド、エスレンブロック（EPS土木工法）、TYKフォーム、その他建材関連商品
- ・その他事業— 物流資材関連商品、パルプ容器関連商品、テクヒーター、その他商品

<ご参考>

四半期（3ヵ月）別経営成績（連結）推移

（単位：百万円）

当連結会計年度

	第1四半期 平成18年4月～6月	第2四半期 平成18年7月～9月	第3四半期 平成18年10月～12月
売上高	21,720	23,919	26,135
営業利益	522	710	1,341
経常利益	503	613	1,327
四半期（当期）純利益	208	458	1,033

前連結会計年度

	第1四半期 平成17年4月～6月	第2四半期 平成17年7月～9月	第3四半期 平成17年10月～12月	第4四半期 平成18年1月～3月	累計 平成18年3月期
売上高	21,009	22,265	24,221	21,757	89,254
営業利益	502	705	1,231	552	2,992
経常利益	551	710	1,298	488	3,049
四半期（当期）純利益	299	500	780	219	1,800

四半期（3ヵ月）別セグメント売上高（連結）推移

（単位：百万円）

当連結会計年度

	第1四半期 平成18年4月～6月	第2四半期 平成18年7月～9月	第3四半期 平成18年10月～12月
樹脂事業	8,477	9,400	10,479
シート事業	10,099	10,776	11,575
建材事業	1,981	2,570	2,758
その他事業	1,161	1,171	1,321

前連結会計年度

	第1四半期 平成17年4月～6月	第2四半期 平成17年7月～9月	第3四半期 平成17年10月～12月	第4四半期 平成18年1月～3月	累計 平成18年3月期
樹脂事業	7,677	8,071	8,870	7,931	32,551
シート事業	10,088	10,588	11,182	10,207	42,067
建材事業	2,093	2,438	2,649	2,426	9,608
その他事業	1,149	1,165	1,519	1,192	5,027

以上